

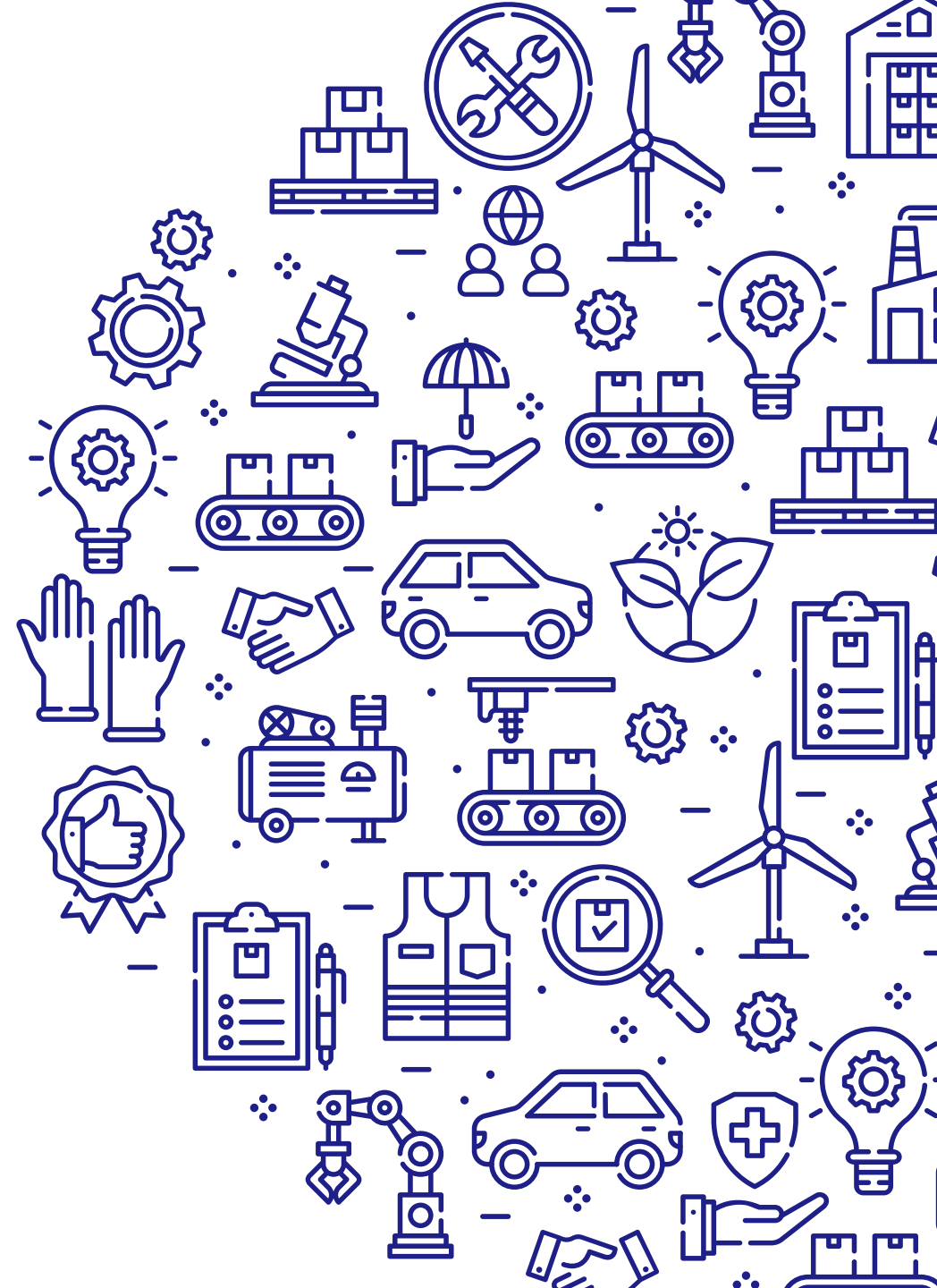
2024年度（2025年3月期）決算説明会

NOK株式会社

2025年5月14日



2024年度 決算概況



- 売上・営業利益は前期比で増加
 - ✓ 為替の影響を除くと売上高は減少も、シール、電子部品ともに営業利益増。電子部品は2017年度以来の黒字
 - ✓ 第3四半期決算時の通期予想比較でも売上高、営業利益ともに上振れ
- 前期の政策保有株式の売却益が大きかったことから当期純利益は減少
- 一株当たり配当予想：従来予想を5円上方修正し、105円（前期比+17.5円）

2024年度連結業績サマリー



(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増減額	2024年度 業績予想
売上高	7,505	7,669	+2.2%	7,557
シール	3,626	3,627	+0.0%	3,628
電子部品	3,598	3,710	+3.1%	3,597
営業利益	229	373	+62.6%	353
シール	233	262	+12.4%	254
電子部品	△10	89	-	79
当期純利益	316	303	△4.1%	302

2025年2月公表

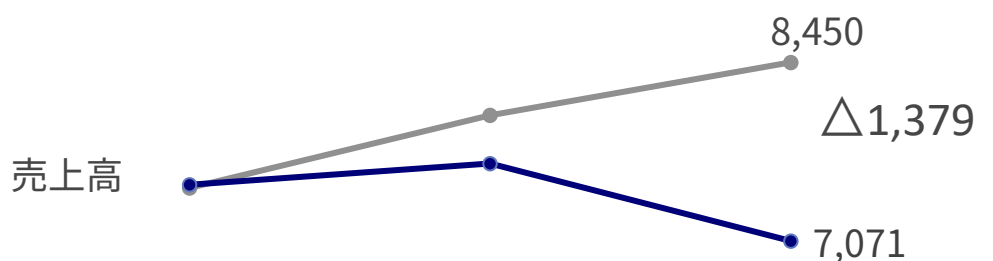
- 減収も、営業利益は微増益を予想
 - ✓ シール、電子部品ともに営業利益段階で増益を予想
 - ✓ 為替レート前提は前期実績比円高で予想（140円／米ドル）
 - ✓ 米国関税による顧客製品需要への影響は業績予想に織り込んでいない
- 政策保有株式の売却推進による特別利益の計上を織り込み、当期純利益は増加を予想
- 一株当たり配当は前期比5円増配の110円を予想

2025年度業績予想：中期経営計画目標値との比較



中期経営計画の数値目標には未達予想だが、収益性の向上に継続的に取り組む

中計目標値と実績／業績予想の比較（単位：億円）



■ 主な上振れ要因 ↑

- ✓ 積極的な価格交渉推進や経費の適正使用による利益の積み重ね
- ✓ 電子部品事業における生産平準化等による収益力の向上
- ✓ 為替レート：中計前提 130円/USD、FY25予想前提 140円/USD

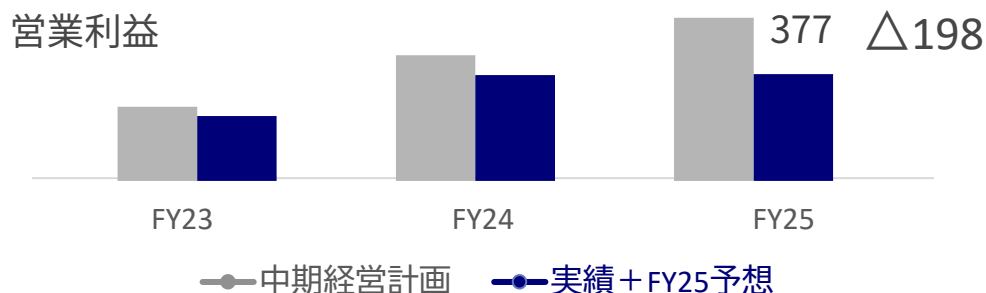
■ 主な下振れ要因 ↓

シール

- ✓ 日系自動車メーカーの生産台数前提
- ✓ 建機、半導体製造装置向けなど一般産業機械向けの売上

電子部品

- ✓ 電動車バッテリー用途をはじめとする車載向けの売上



- 当社グループから米国への輸出については規模も大きくなく、原則として価格転嫁する方針であることから影響は軽微
- 一方、当社製品を搭載した顧客の製品について、関税の影響に伴う米国での需要低下が懸念事項だが、現時点で業績予想には織り込んでいない

影響が想定される主な用途

シール

自動車向け

米国向けビジネスの規模はシール連結売上の10%程度。日本で製造される製品向けが主

電子部品

スマートフォン向け

北米メーカーのスマートフォンのグローバル販売台数の約30%程度が米国市場向けと推定

政策動向とその影響を注視するとともに、経費の効率的利用等を通じて利益への影響を可能な限り吸収
中長期的には必要に応じてサプライチェーンの変更も検討

利益と資本効率性の向上

X

適切な成長期待の醸成

収益力の強化

- シール：非日系顧客のさらなる強化
- 電子部品：全四半期の安定的な黒字化
- 価格交渉による適正価格での受注

中計施策*：①成長ドライバー、④経営資源の最適活用

キャピタルアロケーション

- 中計の還元・政策保有株売却目標の達成
- キャピタルアロケーション方針の設定

中計施策：④経営資源の最適活用

成長ドライバー創出

- EV化に備えた開発・拡販の継続
- グリーンエネルギー、半導体製造装置などの新領域の開拓継続
- 新成長領域創出プロジェクトの推進

中計施策：①成長ドライバー

透明性の高い情報開示

- 情報開示と対話による透明性の向上

サステナブルな成長の土台となる事業運営基盤の構築と人財への投資

中計施策：②マネジメント基盤、③人的資本

持続的な成長に向けた中計最終年度の取り組み



- 2025年度業績予想の達成と収益性向上に向けた継続的な取り組み
- 中計施策の確実な実行：将来成長への種まきと構築した変革基盤に基づく変革実行サイクルの定着
- 持続的成長を実現するための次期中期計画の立案

2031年度目標

売上高 1 兆円
営業利益率 8 %以上

2023-2025
中期経営計画
変革基盤の構築

次期中期計画
25年度終了後の
公表を予定

A dense, repeating pattern of blue line-art icons on a white background. The icons represent various aspects of industry, technology, and innovation. Recognizable symbols include gears, lightbulbs, wind turbines, robots, cars, hands, tools, and abstract shapes. The pattern is composed of many small, identical or similar icons arranged in a way that creates a continuous, textured effect.

2024年度 連結業績



(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 実績	前期比	24年度 予想
売上高	7,505	7,669	+2.2%	7,557
営業利益	229	373	+62.6%	353
営業利益率	3.1%	4.9%	+1.8pt	4.7%
経常利益	403	481	+19.3%	458
当期純利益*	316	303	△4.1%	302

*親会社株主に帰属する当期純利益

2025年2月公表

設備投資額	452	524
減価償却費	478	469
平均為替レート（円/ドル）	143.74	152.74

24年度 対前期比での為替影響
売上高：+274億円、営業利益：+13億円

2024年度 実績：セグメント別売上高・営業利益



(単位：億円)

		23年度 実績	24年度 実績	前期比	24年度 予想
シール	売上高	3,626	3,627	+0.0%	3,628
	営業利益	233	262	+12.4%	254
	営業利益率	6.4%	7.2%	+0.8pt	7.0%
電子部品	売上高	3,598	3,710	+3.1%	3,597
	営業利益	△10	89	-	79
	営業利益率	△0.3%	2.4%	+2.7pt	2.2%
その他	売上高	281	332	+18.2%	332
	営業利益	6	21	+239.8%	20
	営業利益率	2.2%	6.3%	+4.1pt	5.9%

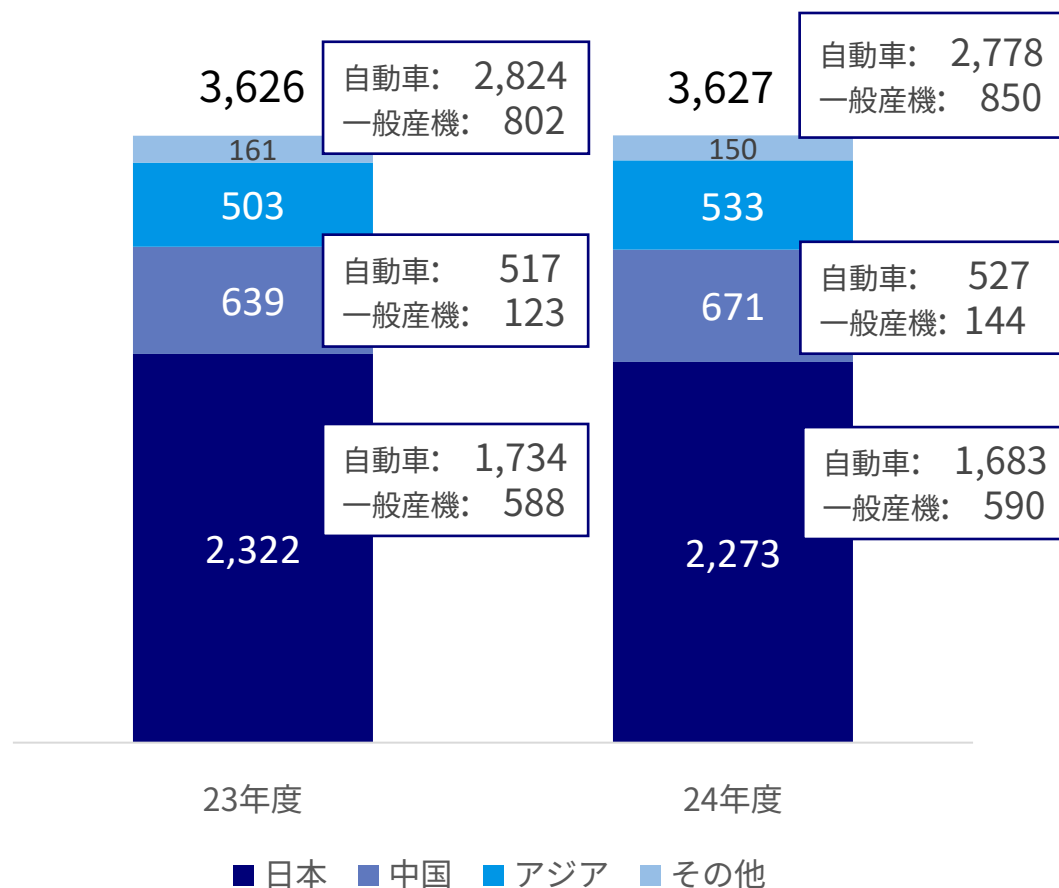
2025年2月公表

シール：2024年度実績（売上高）



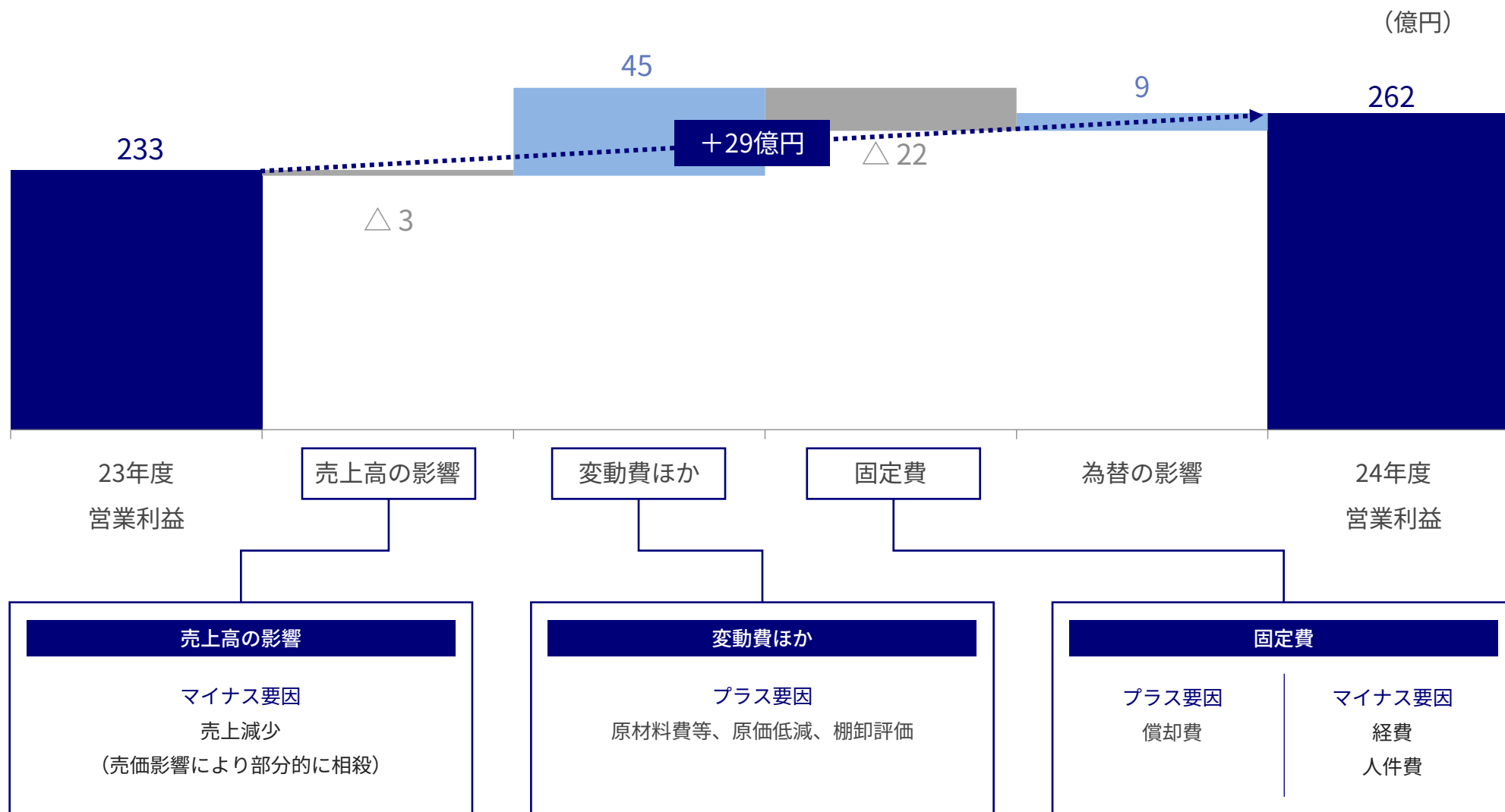
所在地別売上高（億円） *販売元の所在地ベース

産業別売上高（億円）



- 前期比横ばい
為替による押し上げ影響を除くと減収
- 日系自動車メーカーの生産台数減少による影響を継続的な価格改定活動の推進や、非日系顧客への拡販などによりある程度カバー
- 一般産機向け：建設機械の生産台数はまだ回復していないが、補修用部品や農業機械向けの販売が増加

シール：2024年度実績（営業利益）

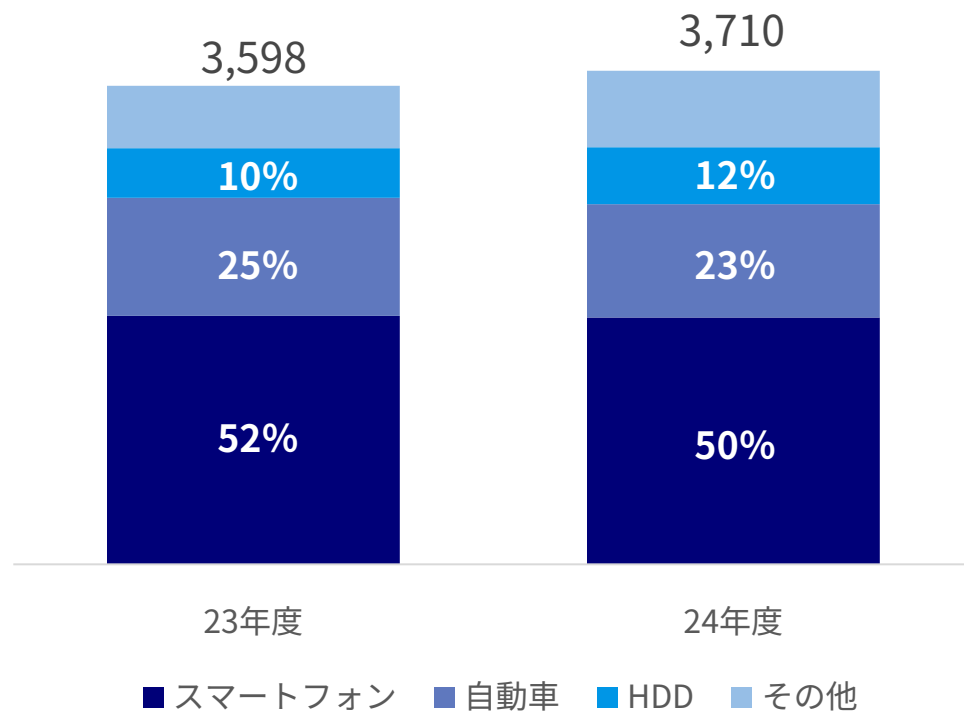


電子部品：2024年度実績（売上高）

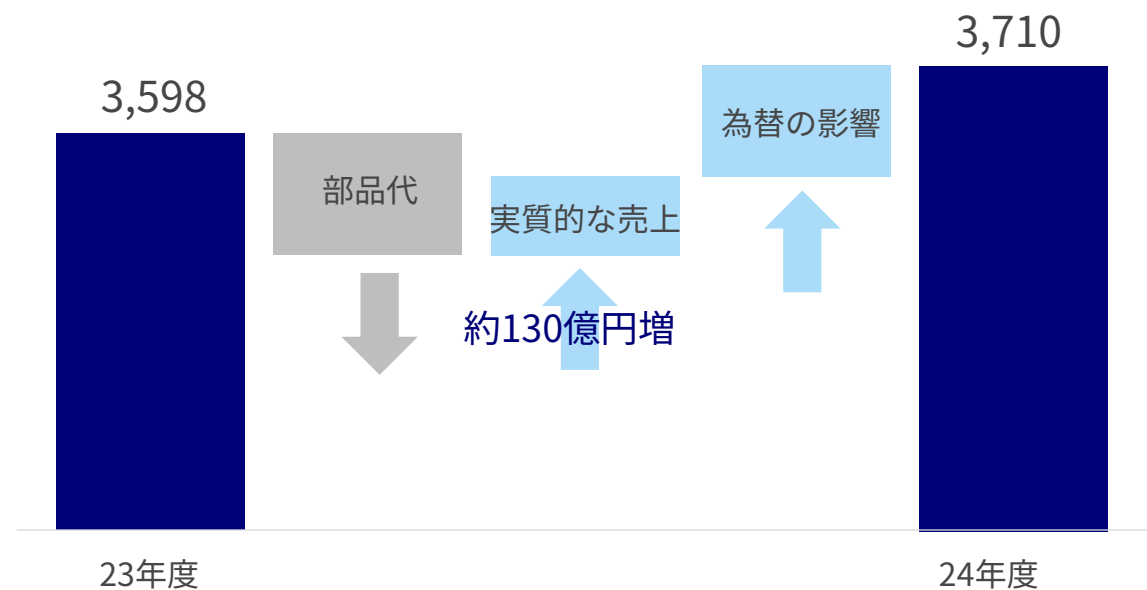


- 為替の影響を除くと減収だが、売上に含まれる外部購入部品代が減少しており、それを除く実質的な売上は増加
- 実質的な売上はスマートフォン向け、HDD向けで増加

主要用途別売上高構成比
売上高（億円）



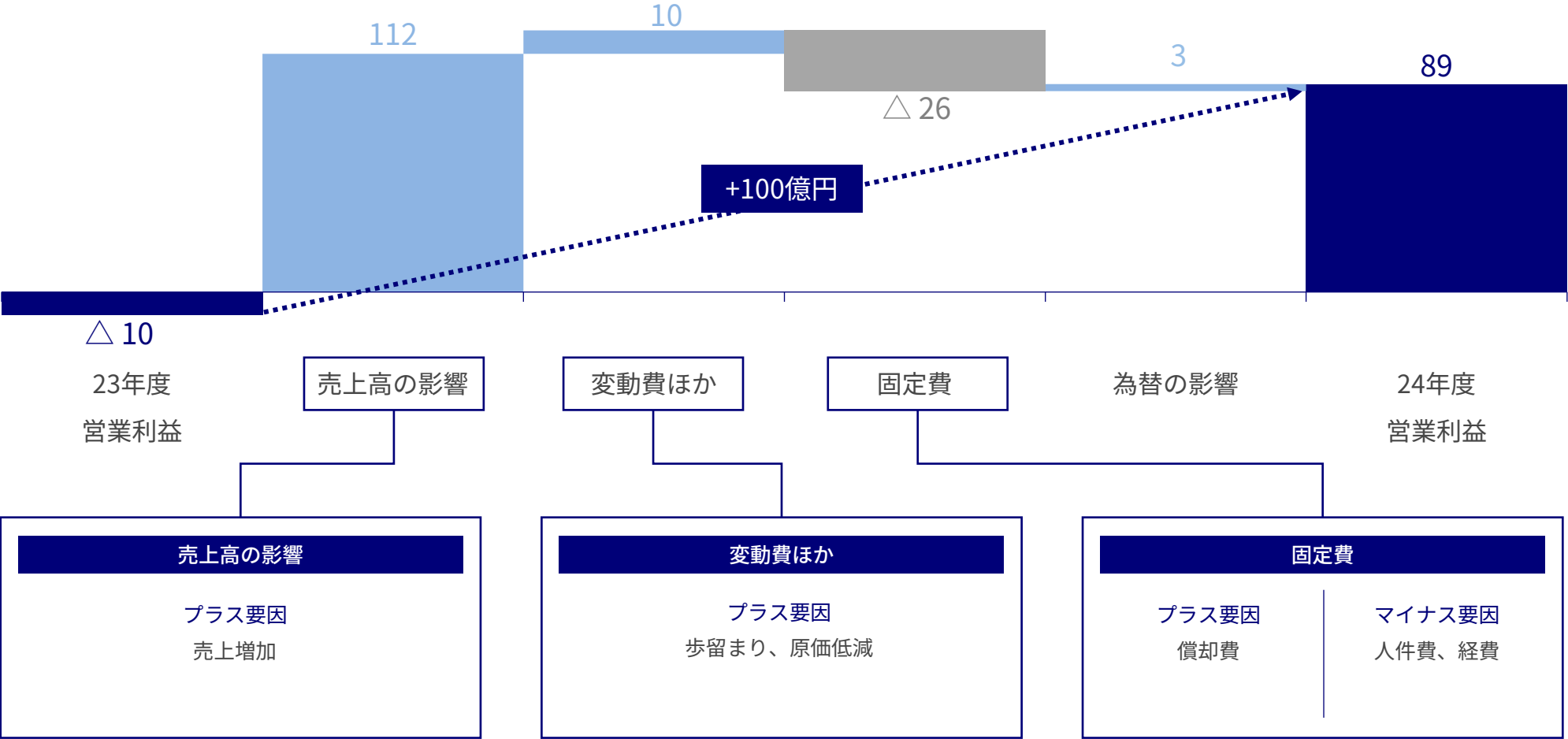
前期からの増減
売上高（億円）



電子部品：2024年度 実績（営業利益）



（億円）



2025年度 連結業績予想



(単位：億円)

	24年度 実績	25年度 予想	前期比
売上高	7,669	7,071	△598 (△7.8%)
営業利益	373	377	+4 (+1.2%)
営業利益率	4.9%	5.3%	+0.5pt
経常利益	481	485	+4 (+0.9%)
当期純利益*	303	365	+62 (+20.4%)

*親会社株主に帰属する当期純利益

設備投資額	524	546
減価償却費	469	470
平均為替レート (円/ドル)	152.74	140.00

25年度予想 対前期比での為替影響
売上高：△360億円、営業利益：△20億円

2025年度予想：セグメント別売上高・営業利益



(単位：億円)

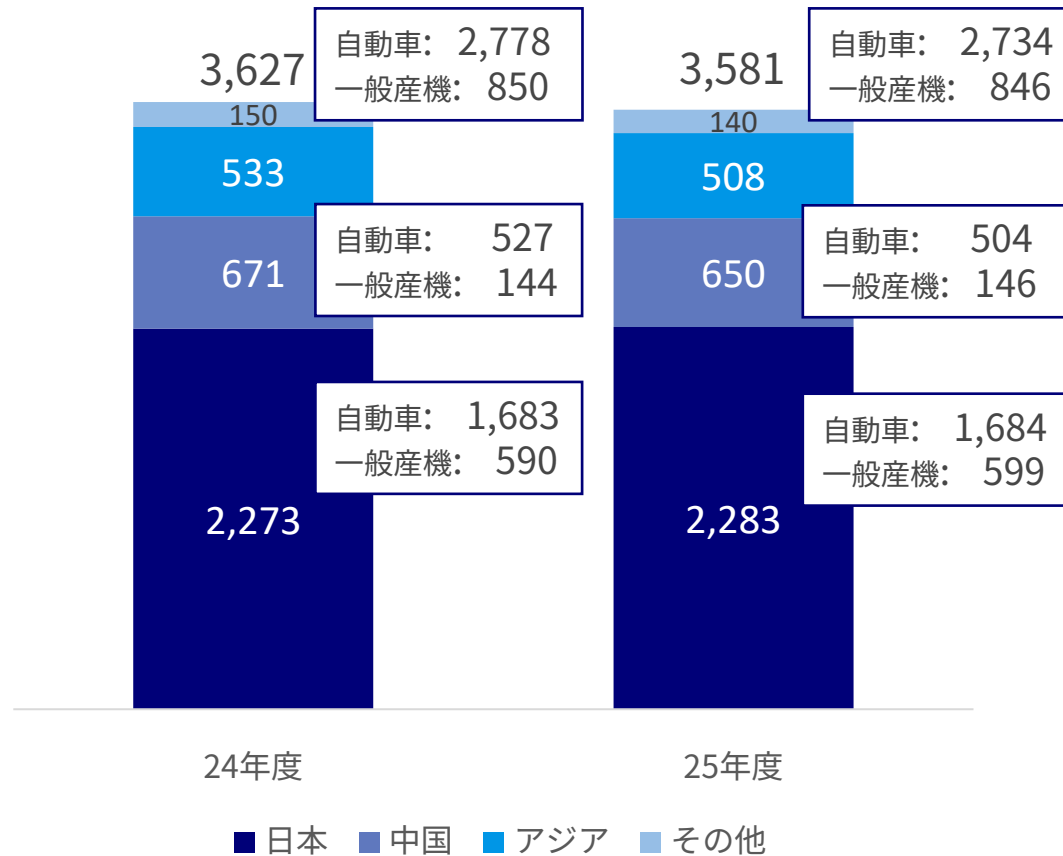
		24年度 実績	25年度 予想	前期比
シール	売上高	3,627	3,581	△47 (△1.3%)
	営業利益	262	265	+3 (+1.1%)
	営業利益率	7.2%	7.4%	+0.2pt
電子部品	売上高	3,710	3,180	△530 (△14.3%)
	営業利益	89	100	+11 (+12.0%)
	営業利益率	2.4%	3.1%	+0.7pt
その他	売上高	332	311	△21 (△6.3%)
	営業利益	21	12	△9 (△43.6%)
	営業利益率	6.3%	3.8%	△2.5pt

シール：2025年度予想（売上高）



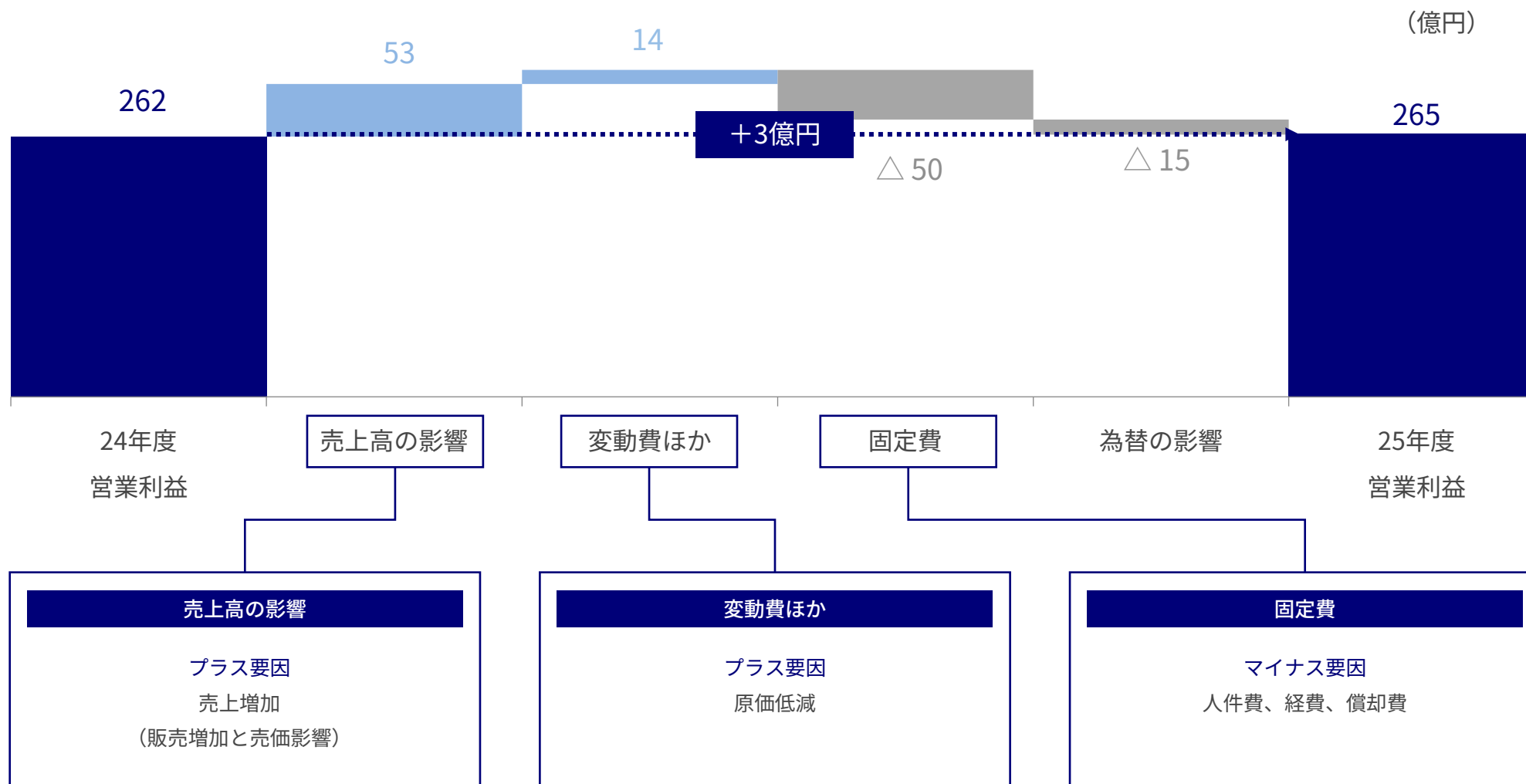
所在地別売上高（億円） *販売元の所在地ベース

産業別売上高（億円）



- 前期比1.3%の減収予想
為替による押し下げ影響を除くと実質は若干の増収見通し
- 日系自動車メーカーの生産台数前提は前期比ほぼ横ばい
- 引き続き中国での非日系メーカーへの拡販に注力
- 米国関税による顧客製品需要への影響は業績予想に織り込んでいない

シール：2025年度予想（営業利益）

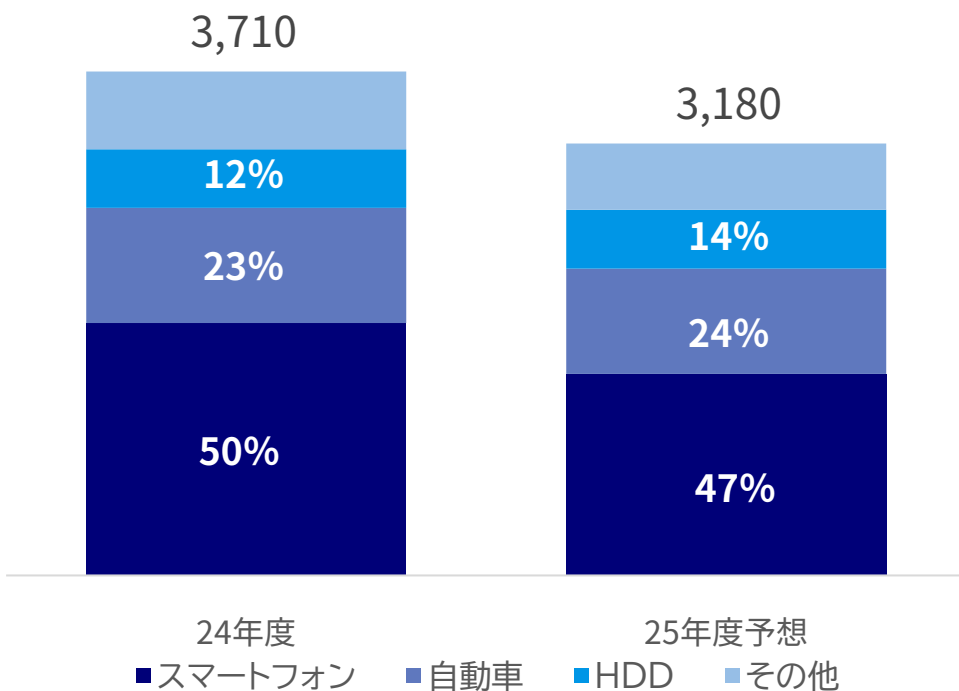


電子部品：2025年度 予想（売上高）

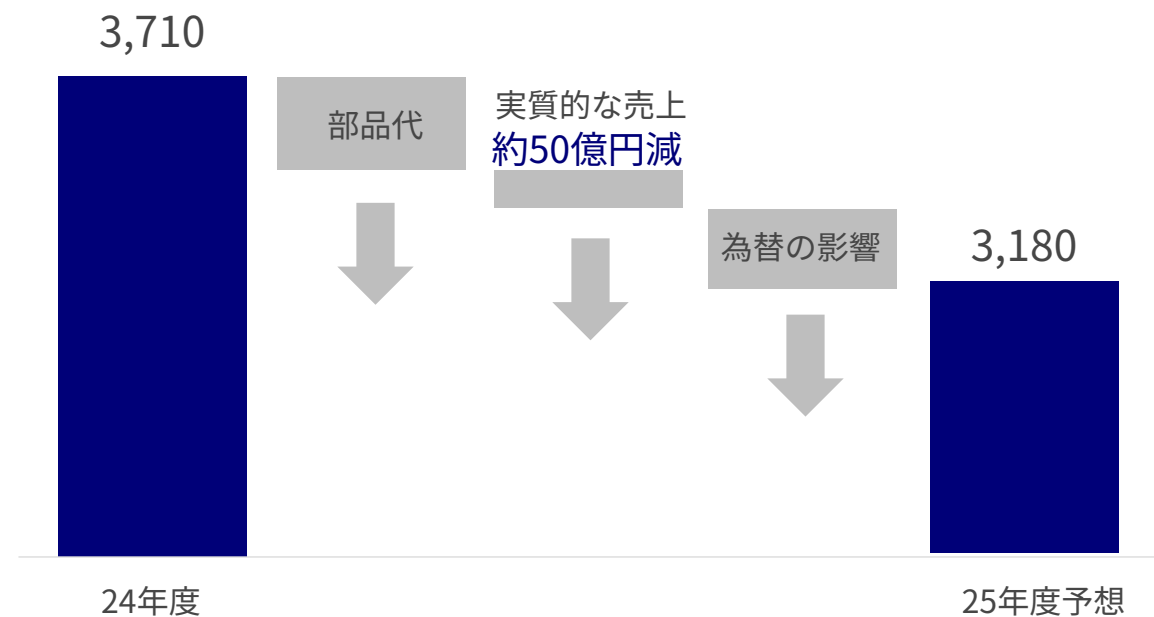


- 為替影響、売上に含まれる外部購入部品代の減少を除くと、実質的な売上の減少は約50億円
- 米国関税による顧客製品需要への影響は業績予想に織り込んでいない

主要用途別売上高構成比
売上高（億円）



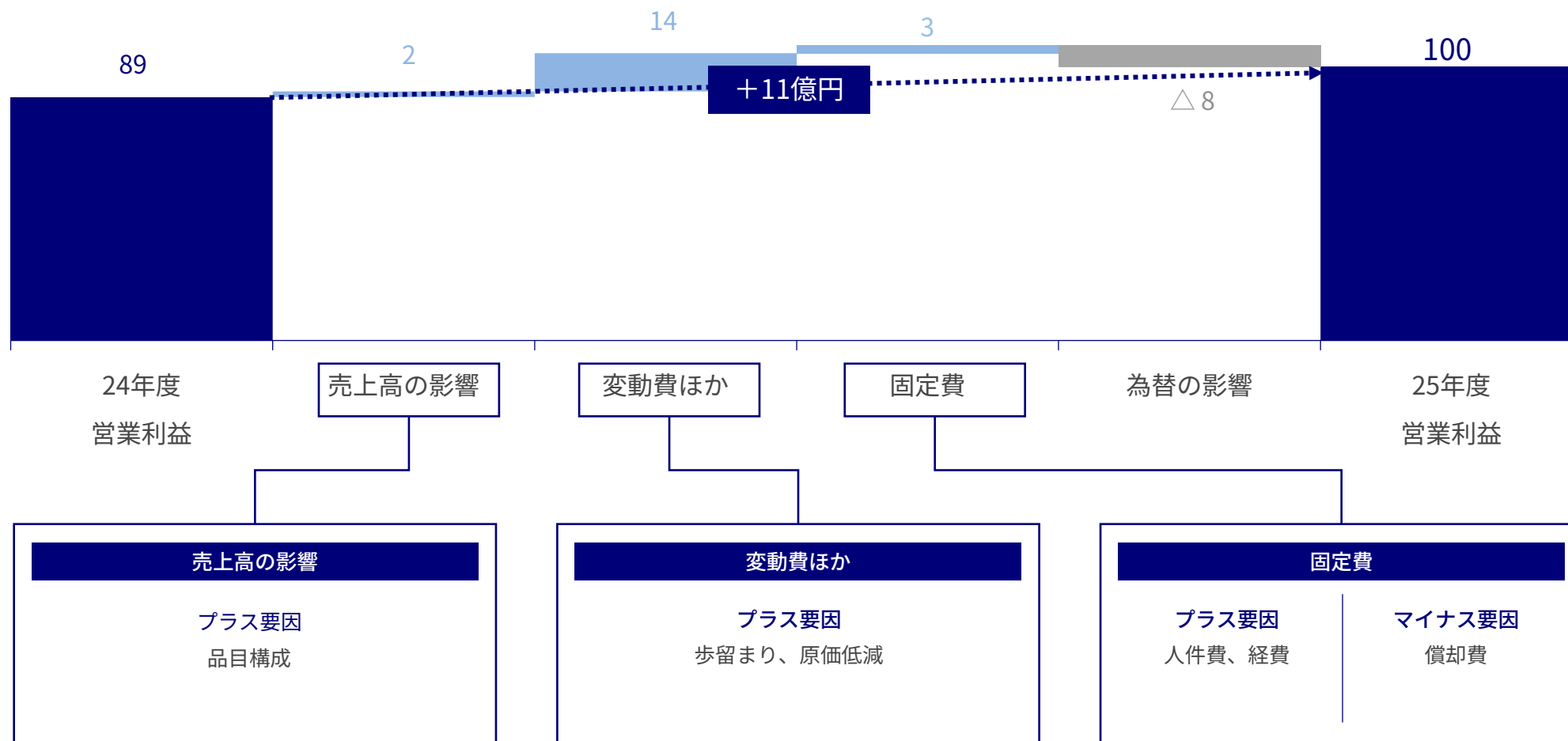
前期からの増減
売上高（億円）



電子部品：2025年度 予想（営業利益）



（億円）

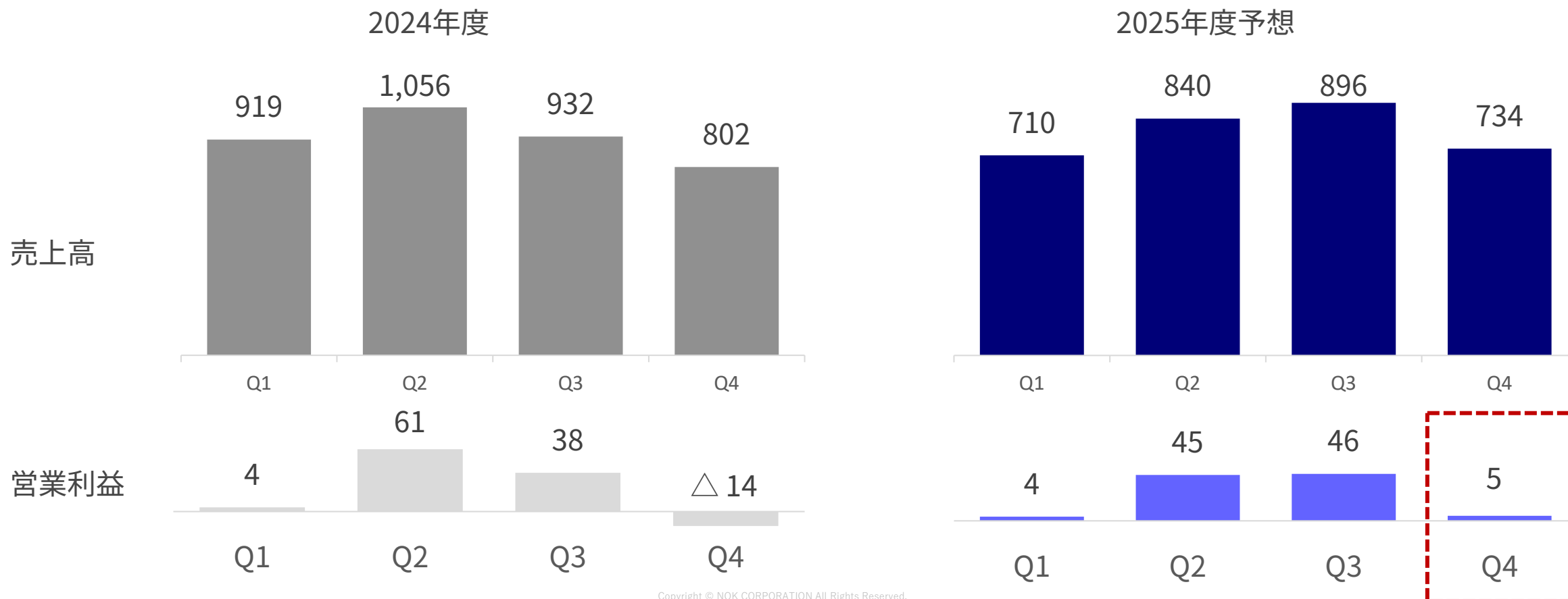


電子部品：業績の四半期推移見通し



これまでの構造改革および継続的な生産平準化の取り組み等により第4四半期も含め全四半期の黒字を目指す

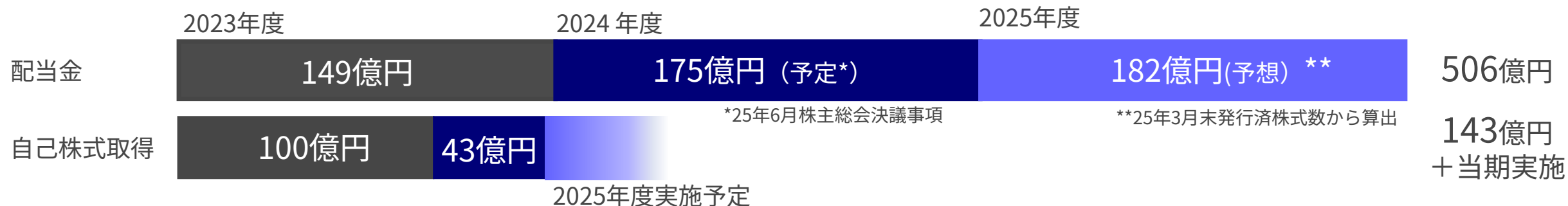
電子部品：四半期業績推移（単位：億円）



キャピタルアロケーション：中期経営計画の3年間の目標を確実に達成

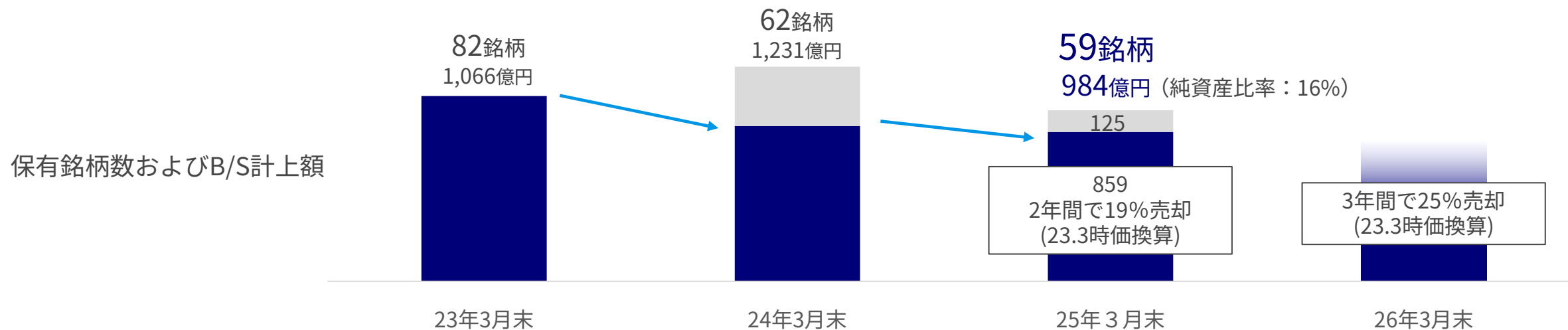


株主還元：3年間累計で675億円を超える還元を実施予定



政策保有株式の売却：中計目標*の達成以降も継続的に適正水準に向けた売却を進める

*中計目標：23年3月末時点の残高の25%以上（23年3月末時価ベース）を売却



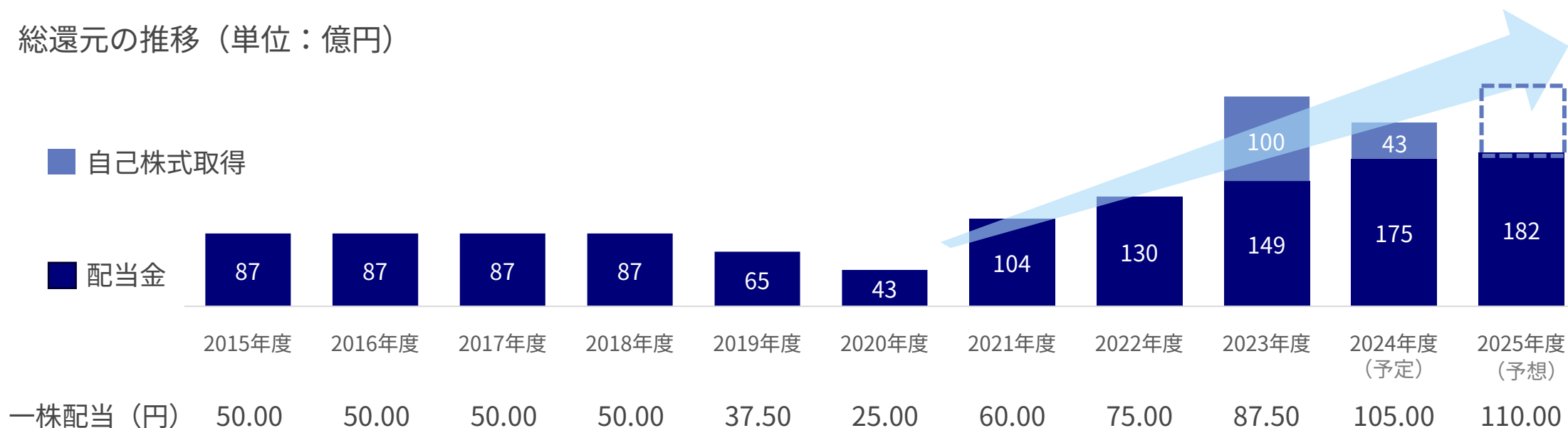
キャピタルアロケーション方針



- 事業への投資（オーガニック／インオーガニック成長投資、設備投資）を最優先
- 中長期的な事業成長に基づく段階的な増配
- 事業投資などの資金状況を総合的に勘案した自己株式取得

今後は中長期的な業績成長に基づく段階的な増配と自己株式取得を組み合わせた還元を実施していく

総還元の推移（単位：億円）



当資料でご説明するNOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

また、当資料の中でご説明する内容の正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じて一切責任を負いかねます。

また、当資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することはご遠慮ください。